

### Step 1

「消え入る音」をとらえる音遊びを体験した後、子どもは、自身の即興的な表現力を発揮し、体全体で「音」を楽しむ喜びを味わいました。子どもの表現は、多感覚での感受により、自由につくり変えられていきます。



### Step 2

学生が即興演奏する楽器の音色やリズムを感じとりながら、子どもたちは、床に広げられた大きな紙に、音のイメージを白いクレヨンで形にしていきます。さらに、描かれた白いクレヨンの線に、自分で砕いたパスの色粉を振りかけ、擦って色をつけました。



### Step 3

音のイメージが描かれた床一面の紙。子どもは、お気に入りの部分を切り取ります。それを筒状にして、LED電球の上にかぶせると、自分だけの「ランプシェード」の出来上がり。「音とカタチ」から生まれた光が、暗い部屋を彩りました。



即興的に表現された「音」から感じるイメージを、思いのままに「カタチ」に表現していくアートを親子で体験するワークショップ。音楽、造形、身体表現、言葉という枠組みを超えて、からだ全体の感覚と感性を研ぎ澄ませ、ものや人と共有するコミュニケーションの楽しさを実感することができました。

### data

- パートナー 京王電鉄株式会社(主催)、株式会社第一通信社(企画運営)
- 担当教員 吉永 早苗 教授・立川 泰史 教授(現代生活学部児童学科)
- 実施期間 2019年12月24日～2020年2月29日



京王アカデミープログラム「子育てサロン」  
 ～『親子で楽しむ!「音」と「カタチ」のアート体験』～